

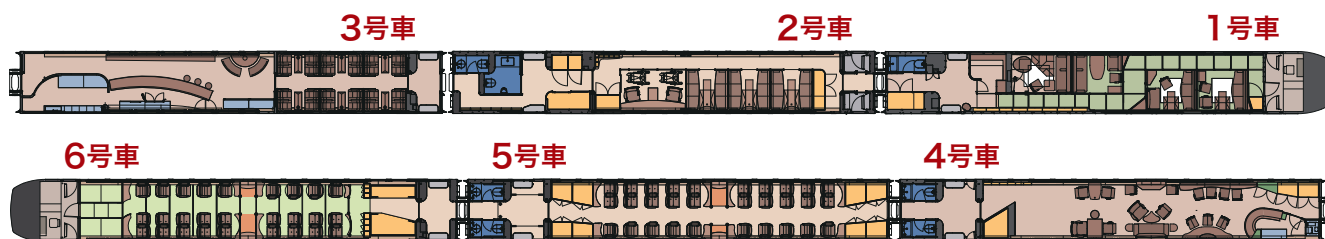
「36ぷらす3」車両レイアウト



2020年秋に運行を開始する「36ぷらす3」。1992年デビューの787系の面影を残しつつ、コンセプトである「九州のすべてが、ぎゅーっとつまった“走る九州”といえる列車」を体現する、新たな列車として生まれ変わります。

1. 車両レイアウト

1号車から3号車までは個室、5号車、6号車は座席タイプの客室となります。3号車は17年ぶりにビュッフェが復活します。4号車はマルチカーとして、車内での体験やイベントなどに活用します。



完成予想図です

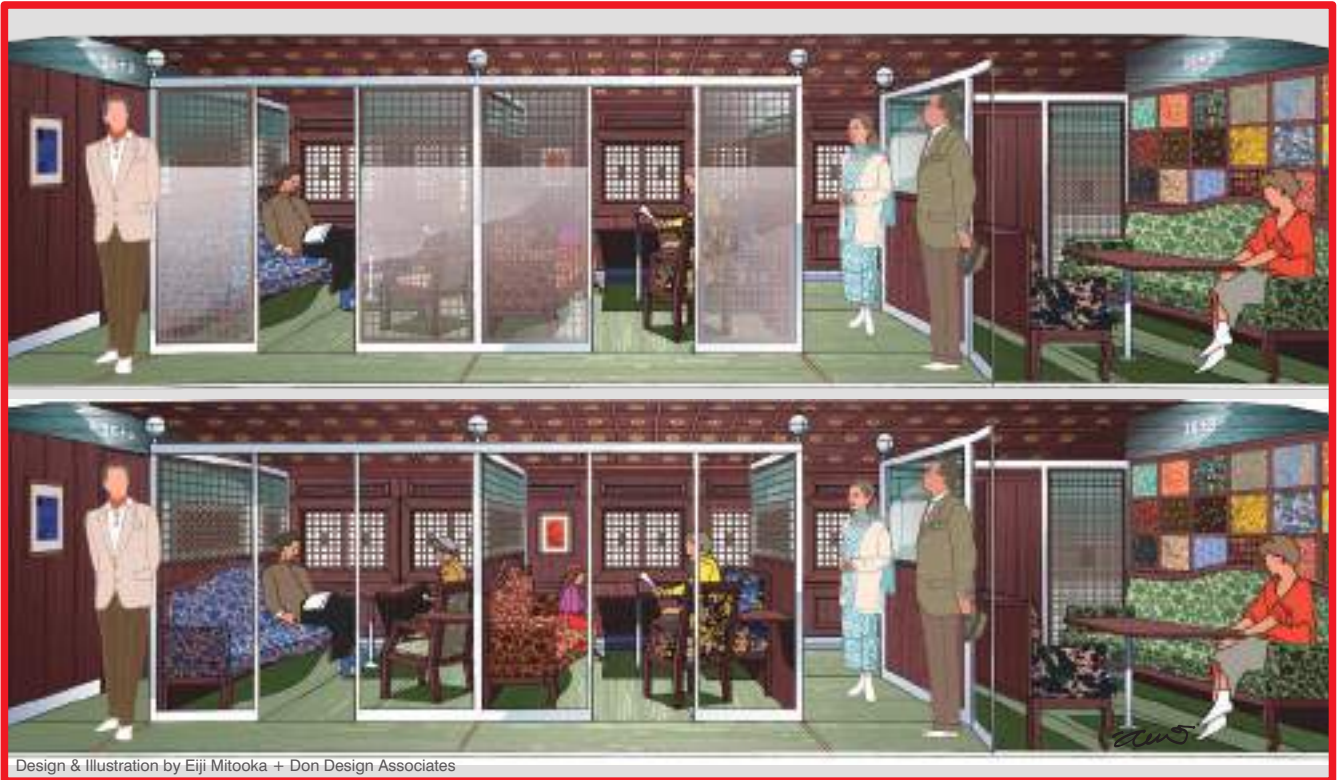
(車両概要)

1号車	グリーン個室(定員4席、4室)	4号車	マルチカー
2号車	グリーン個室(定員6席、3室)、車いす対応座席	5号車	グリーン席(30席)
3号車	グリーン個室(定員2席、6室)、ビュッフェ	6号車	グリーン席(27席)

合計103席予定

※販売価格や販売条件は検討中です。決定次第お知らせ致します。

2. 車両イメージ



1号車 グリーン個室(定員4人)

イラストは完成予想図です

1号車は既存のグリーン個室1室のほか、3室を新設します。新設する個室は、パーテーションの高さを抑え、明るく開放的な空間を目指します。クラシックな雰囲気の落ち着いた色調の車両となります。



3号車 ビュッフェ

イラストは完成予想図です

17年ぶりに復活するビュッフェは、九州の魅力的な飲み物、食べ物を満載して走ります。モダンで近代的なイメージのビュッフェ中央に存在感抜群のカウンターを設置します。



Design & Illustration by Eiji Mitooka + Don Design Associates

イラストは完成予想図です

4号車 マルチカー

マルチカーでは、お客さまの共用スペースとしてくつろぎの時間をご提供するほか、カウンターでタイムリーな商品や特別な飲料の販売など、ライブ感あるサービスの提供を検討します。また、客室乗務員のご案内により、お客さまと楽しむ体験メニューも検討していきます。

「36ぷらす3」でのご旅行イメージ(木曜日)

博多

AM

車内で過ごすお時間(車窓、ビュッフェetc.)
途中の駅で停車し、ホームでの販売など

熊本

お昼頃

車窓を眺めながらの昼食のひととき
途中の駅で停車し、ホームでの販売など
マルチカーでの「九州のお茶」体験など

鹿児島中央

PM

到着後は鹿児島市内での夕食、宿泊、または指宿、霧島方面ほか
観光地へ移動などができます
翌日以降のご旅行は自由に設定できます

車内では、車窓にあわせて九州をより深く楽しむエピソードを紹介

参考「36ぷらす3」概要

■列車名「36ぷらす3」について

世界で36番目に大きい島、九州全県を巡る「36ぷらす3」は、5つのルートに、九州を楽しむ35のエピソードをぎゅーっと詰め込んで、お客さまをお迎えします。

ぜひ全ルート楽しんで、お客さまご自身に“36番目のエピソード”を語っていただきたい—そんな想いを込めました。

この列車で、驚き、感動、幸せをお届けし、「お客さま、地域の皆さま、私たち」でひとつになって、39(サンキュー!) = 「感謝」の輪を広げていきます

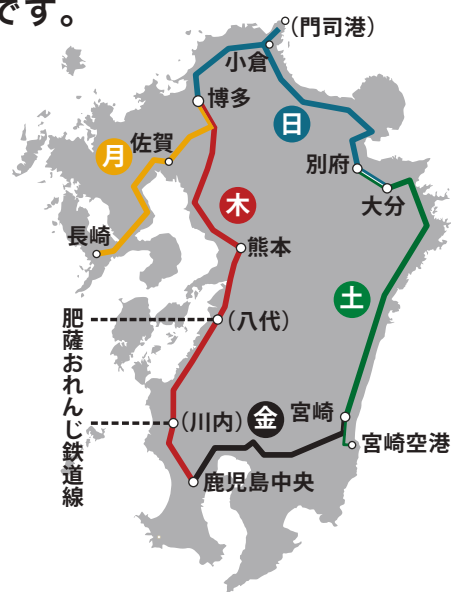
■運行開始 2020年 秋

■コンセプト 「九州のすべてが、ぎゅーっと詰まった“走る九州”といえる列車」

■運行ルート 九州7県をめぐる、新たな運行ルートです。

木曜日	博多→熊本→鹿児島中央[肥薩おれんじ鉄道線経由]
金曜日	鹿児島中央→宮崎
土曜日	宮崎空港・宮崎→大分・別府
日曜日	大分・別府→(門司港)→小倉→博多
月曜日	博多→佐賀→長崎／長崎→佐賀→博多

- ・上記記載の各日単位でご乗車いただけます。販売方法、運転時刻、運転日等は決まり次第お知らせいたします。
- ・日中の時間帯に運行し、宿泊設備は備えていません。
- ・お客さまの乗降は、上記記載の各駅(門司港駅を除く)を予定しています。
- ・上記のルートで年間45週程度の運転を予定しています。



■特設サイト https://www.jrkyushu.co.jp/train/new_d_and_s/

世界一大きい「感謝」の輪を描きます。

目指すは“世界一のわ”

この列車の全ルートの走行距離は、1198キロ。世界一の壮大な「わ」をつくります！(*)

(*)一方向に円を描くように環状運転する電車として。寝台列車除く。自社調べ。キロは営業キロベースで記載。